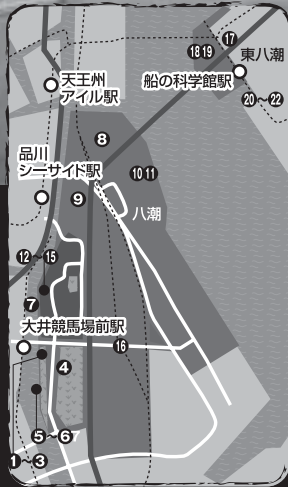


歩く目的

ASAスタッフは町歩き達人でもある。
 朝日新聞販売店発近所散歩ミニミニ

八潮の異次元風景

品川の最東に位置する八潮地域。約1万2000人が住むパークタウンあり、運河あり、ふ頭あり、磯辺あり…広大な埋立地に、独自の都市空間を形成する「八潮ならではの」驚きの風景を探しに行った。



迷い込む八潮のアマゾン

1

野鳥集まるなぎさの森
 都立大井ふ頭中央海浜公園のなぎさの森にある淡水池。ここは野鳥のオアシス、カワセミに会えたらラッキー。

2

ぐるっと観察路
 淡水池周辺は観察路になっていて、1周約10分。途中、お休み石で休憩したり、野鳥を観察したり、たっぷり森林浴が楽しめる。



木の間から巨人の視線…

3

なぎさの森の彫刻広場
 じつとコチラを見つめる視線。「三人三様」という彫刻の作品で、隣にあと2つ。近づくと見上げる程大きいのに、どこかかわいらしいのだ。

“マグナム級”!?



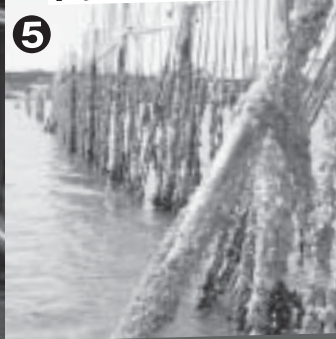
4 大井スポーツセンターのレストランにて

その名も「マグナムチキン」。山盛りの唐揚げマヨネーズ。最大級を名に冠するに相応しいボリューム。

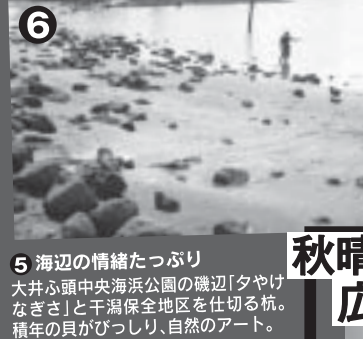
6 磯辺を歩けば
 ゴツゴツとした大小の石をよけつつ、引き潮の磯を歩く。ちょっと荒涼とした浜はどこか別の惑星の景色を思わせる。

高速の脇が海

5



6



5 海辺の情緒たっぷり
 大井ふ頭中央海浜公園の磯辺「夕やけなぎさ」と干潟保全地区を仕切る杭。積年の貝がびっしり、自然のアート。

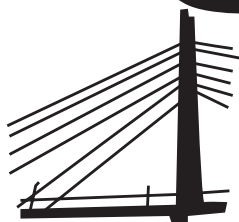
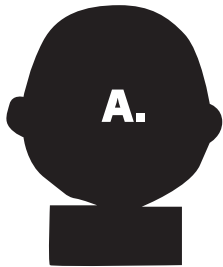
秋晴れに橋の羽は広がって

7

勝島から八潮にかかる「かもめ橋」
 青空に映える白い橋。歩行者専用の橋で、橋からはモノレールと東京タワーが望める。しながわ百景にも選ばれた名景をぜひどうぞ。

1面に載っている風景です。※答えは2面

コレドコ? 八潮クイズ



2011.11月
 No.55

ASA大田中央 ASA東大井

発行:(有)芝原新聞販売
 発行責任者:芝原哲雄
 発行部数:8,000部
 発行日:毎月25日
 配布:朝日新聞:東京新聞

配布エリア

(ASA大田中央)
 中央1~8丁目
 南馬込3~4丁目
 山王3丁目
 西蒲田1丁目、4丁目
 (ASA東大井)
 南大井1~6丁目
 勝島1~3丁目
 八潮1~5丁目
 東大井1~6丁目
 東八潮



※太線内が当店配布エリア

八潮で ロケット発見?



8



9

8 大井火力発電所

大井埠頭の先端にそびえる煙突。運河を挟んで向き合う品川火力発電所と共に、東京の約1割の電力を供給。足元には東京ドームの約4倍の敷地に2万本近い樹木が生い茂る。

9 同じく埠頭のつぼさん

品川清掃工場の煙突。5年前に誕生。90mもあり、シースルーの囲いがすっぽり。

青空と コンテナの山



10

10 東京港で一番大きなコンテナ埠頭
八潮2丁目に広がる大井コンテナ埠頭。東京ドーム20個分の面積に、世界中の港湾から集まるコンテナの山がいくつもそびえる。



11 コンテナを改造した事務所

この事務所、よく見るとコンテナ。たくさん積まれていると大きさがわからないが、ひとつでこのサイズ。

歩いてても歩いてても 団地迷路



12

八潮名物の団地風景
昭和58年から入居開始した、八潮パークタウン(八潮団地)。69号棟まである団地の森は、八潮ならではの異空間。



13

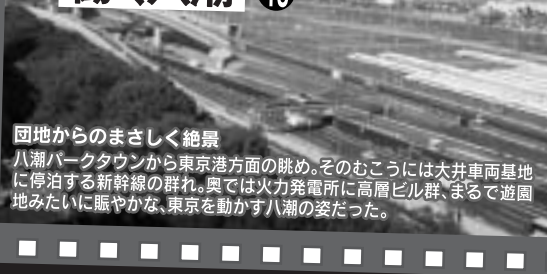


14

13 親子連れていっばいの屋下がり
八潮パークタウン内には幼稚園・保育園が合わせて5つもある。お迎えの後はそのまま団地内の公園に直行!

14 自転車から聞こえる
団地内の子ども自転車置き場。カラフルな自転車でいっぱい! 持ち主がいなくても賑やかな場所。

全部見えた! 働く八潮 15



団地からのまさしく絶景

八潮パークタウンから東京港方面の眺め。そのむこうには大井車両基地に停泊する新幹線の群れ。奥では火力発電所に高層ビル群、まるで遊園地みたいに賑やかな、東京を動かす八潮の姿だった。

富士山にお会いしました



16

広い空を楽しむ
大井車両基地をまたぐ陸橋のむこうに、富士山を発見。

17 すぐ横はドラマのセット みたいなお台場



17 お台場に隣接する東八潮

ゆりかもめの「船の科学館」駅を降りれば、そこは東八潮。隣に目を転じるとお台場。夜景が人気の「ホテルグランバンフィックLE DAIBA」、その奥にフジテレビ本社のあの銀色の建物が見えてくる。

宮殿の前庭か!?



18



19

クレーン恐竜

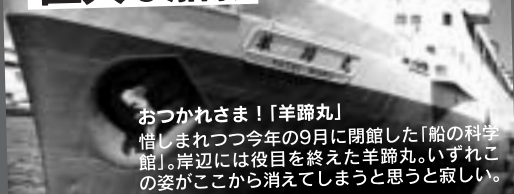
18 人気の高い公園です

東京港を望む都立潮風公園。ワシントンヤシの並木が両側からお出迎え。東八潮とお台場にまたがる広い公園で、サイクリングを楽しむ姿も。

19 首長竜、稼動中

都立みなとが丘ふ頭公園から大井コンテナ埠頭を眺める。によきによき首をもたげるのは、コンテナを船に積み下ろす「ガントリークレーン」。

津軽海峡知る 巨大な船影



おつかれさま!「羊蹄丸」

惜しまれつつ今年の9月に閉館した「船の科学館」。岸边には役目を終えた羊蹄丸。いずれこの姿がここから消えてしまうと寂しい。

20 ヤシの向こうに
船着場には、水産庁の漁業取締船「白電丸」。その奥には美しい帆船の「日本丸」。



21



22

キムタクも乗ったあの船!
日本初の南極観測船「宗谷」。TBSで放送中の「南極大陸」でキムタク扮する主人公や、多くの隊員たちと南極へ挑んだ本物の宗谷に会える!!

コレドコ? 八潮クイズ

2面に載っている風景です。



答え:A. 彫刻広場の作品 B. かもめ橋
C. 船着場に停まる日本丸 D. 大井火力発電所の煙突 E. 潮風公園のワシントンヤシ F. 大井コンテナ埠頭のガントリークレーン

バックナンバー差し上げます。(専用バインダー付) ASA大田中央・ASA東大井までご連絡下さい。

- 第43号「昭和のある久が原」
- 第44号「坂道好き。」
- 第45号「ここが羽田の江戸小路」
- 第46号「東海七福神で初歩き」
- 第47号「近所の温泉・銭湯」
- 第48号「ダイシンと大森の記憶」
- 第49号「区役所のあった街」
- 第50号「元気もらえる! 観音通り商店街」
- 第51号「みんな街で願ってる」
- 第52号「大森から大森海岸」
- 第53号「東京大田汐焼きそば食べ歩き」
- 第54号「品川ランチ八景」

名前の由来 宗谷【そや】

船の科学館に保存展示されていた、日本初の南極観測船。耐氷構造であることから、北海道最北端の宗谷岬がある宗谷海峡にちなんで命名。科学館は閉館してしまいましたが、宗谷の展示公開は今後も継続する予定。